

令和 4 年度一般会計決算（見込み）について

- 令和 4 年度一般会計決算（見込み）における実質収支は均衡した。
- ・ これは、新型コロナウイルス感染症対策等の歳出が減少する一方、国庫支出金等の歳入も減少したことなどによるものである。
 - ・ 新型コロナウイルス感染症が 5 類に位置付けられるなど、大きな転換点を迎える中、チルドレンファースト社会の実現、都市の強靱化、脱炭素社会の実現に向けた取組など、都が直面する膨大な財政需要に対応していくため、引き続き強靱な財政基盤を堅持していく。
- ※ なお、財政状況の詳細については、9 月に公表予定の普通会計決算で明らかにする。

○ 令和 4 年度一般会計決算（見込み）

（単位：億円、％）

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度	増減額	増減率
歳 入 A	93,329	97,474	△4,144	△4.3
歳 出 B	90,478	94,617	△4,139	△4.4
形 式 収 支 C=A-B	2,851	2,857	—	—
翌年度へ繰り越すべき財源 D	2,851	2,857	—	—
実 質 収 支 E=C-D	0	0	—	—

※ 各計数は原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しない場合がある。

【問合せ先】
財務局主計部財政課
電話 03-5388-2669